

NIKKEI
The STYLE
Advertising



プロとも競演している声楽舞台

Corporate data

★ 株式会社 鈴木商館

1905年に創業した産業用高圧ガスの専門商社。
医療ガス分野や、溶接溶断分野をはじめ、産業機械、自動車、
半導体といった先端産業分野の発展にも貢献している。
このほか、化学品事業や極低温事業なども手掛けている。
最近では水素関連事業を拡充するなど、常に新たなビジネス
に挑んでいる。

〒174-8567 東京都板橋区舟渡1丁目12番11号 TEL:03(5970)5555

社長の休日

ビジネスにつながる原動力は休日に。
経済界トップのオフの過ごし方。

Vol.1

株式会社
鈴木商館
代表取締役社長
鈴木慶彦



プロではないからこそ、 本気で打ち込む声楽活動

数十年の長きにわたり「声楽」にいそしんでいるのは、鈴木商館の鈴木慶彦社長。プロ顔負けのバリトン声楽家としてクラシック歌曲やオペラの演奏活動をおこなっている。音楽との出会いはピアノを弾き始めた3歳からという驚きのキャリアを持っている。

土日の休日や平日の就業後には声楽家個人としての練習時間を設けたり、学生時代からの仲間や親交のあるプロの声楽家、ピアニストらと交えたりハーサルに励んでいる。年間7〜10回におよぶ舞台公演をこなしており、公演用の翻訳や字幕制作までも手掛けている。

プロの声楽家、音楽家との共演も少なくない鈴木社長は、プロとの共演においては「自分がアマチュアであることを言い訳にしないことや、プロの真似事をしてはいけないことを心掛けています」との想いを述べた。休日などの時間をフルに活用した熱のこもった活動を続けられるのもアマチュアで活動する魅力の一つと話す。プロに対する

畏敬の念と、自身への戒めを持った姿勢に加え、本気で打ち込むことの素晴らしさを説く言葉に本格派の凄みを感じる。

「声楽」には日常業務では得られない人間関係の構築性や、仕事では経験できない世界を知る喜びがあるという。「社長であっても、レッスンやリハーサルで先生や指揮者に怒鳴られる経験ができたことも貴重でした」との体験談も披露。今後は前人未踏の演奏企画に挑戦していくと共に、若い声楽家らの育成にも貢献していきたいと語った。

そんな本格派の声楽家社長が勧める「趣味への取り組み方」は、専門外の何か好きなことに本腰を入れて取り組むことだという。「航空工学の糸川英夫先生も専門外でチェロとバレエをやっていたことで、専門分野の視野が広がったと言っています」と、あえて自身ではなく、他者のエピソードを述べた。

声楽家としての多忙な横顔も持つ、鈴木社長が唯一抱える悩みは、休日が休みにならないことなのかもしれない。